

## 令和4年教育福祉委員会会議録

1. 招集年月日 令和4年9月12日
2. 招集の場所 可児市役所5階全員協議会室
3. 開 会 令和4年9月12日 午前8時54分 委員長宣告

### 4. 協議事項

#### 1 協議事項

- (1) 委員会の年間活動計画について
- (2) 議会報告会について

### 5. 出席委員 (7名)

委員長	川合敏己	副委員長	渡辺仁美
委員	林則夫	委員	富田牧子
委員	野呂和久	委員	勝野正規
委員	中野喜一		

### 6. 欠席委員 なし

### 7. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	宮崎卓也	議会総務課長	杉山尚示
議会事務局書記	今枝明日香	議会事務局書記	林桂太郎

○委員長（川合敏己君） それでは、9時5分前ですけれども皆さんお集まりですし、委員会を始めたいと思いますがよろしいですかね。

それでは、ただいまから教育福祉委員会を開会いたします。

今委員会におきましては、付託案件、執行部からの報告事項はありませんでしたので、執行部の出席はありません。

これより議事に入りたいと思います。

発言される方は挙手をして、委員長の許可を得てからお願いいたします。また、マイクのスイッチを入れてからお話してください。

協議事項(1)委員会の年間活動計画についてを議題といたします。

それでは、私のほうから説明させていただきます。

お手元の資料1-1を御覧ください。

これは、今年度教育福祉委員会年間活動計画の案として出させていただきました。

このベースは、昨年度の委員会からの引継事項をベースにした形で、最終年度ということもございまして、比較的シンプルに記入させていただきました。

ちょっと、上から読ませていただきます。

(1)方針、委員会所管の課題解決に向け、現地視察や研修会の開催及び関係諸団体との懇談会により委員それぞれの見識を深め、十分な委員間討議を行い、執行部へ提言していきたいということでございます。

(2)議題（案）です。前年度委員会からの引継事項を踏まえ、以下2件を重要課題といたします。

高齢者の孤立防止や生活支援、在宅介護、在宅医療等がスムーズに進展するよう注視する。

2つ目です。小・中学校の子供のたちの学びを支える教育環境がより充実しているか注視していく。

その他、議会活動を通じて、市民福祉の向上のために迅速かつ慎重な対応が必要と判断される案件についても所管事務調査に加えてまいります。

(3)活動内容です。視察、懇談会、勉強会により見識を深めてまいります。

関係部署及び施設への速やかな報告、それから説明の要請を求めます。

十分な委員間討議の上、執行部へ提言をいたします。

スケジュールは別紙に記載させていただきました。

その他ですけれども、コロナ禍の状況によって臨機応変にスケジュールの変更を行うこともございますのでよろしくお願い致します。

裏面を御覧ください。資料1-2です。

これがちょっと、9月から来年の7月までのスケジュールが書いてありますが、今、ここに記載されているものとして今、これから予定するものは、11月に教育委員との懇談会を行いたいと思います。これは例年行っているものでございます。今期、教育委員に新しくなら

れた方もいらっしゃると思いますので。それと、昨年行ったんですが新型コロナウイルス感染症等々の理由により、ちょっと、人数が大分欠けての懇談会でした。ですので、改めて11月の中旬に教育委員との懇談会を行いたいと思います。

それから、広聴部会のほうから議会報告会を行うようにということで、例年11月に入ってから議会報告会を、準備等もごさいますので行っておりましたので、議会報告会を11月の、やはり中旬頃に行ってまいりたいというふうに考えております。

それから、1月を御覧ください。1月の下旬頃に、まだ具体的な日程は決まっておられませんけれども、高齢者福祉関係、これはどちらかという、地域包括支援センターで働いていらっしゃる方を講師に招いての勉強会を行いたいと思っております。

そして、5月はまた議会報告会がごさいます。委員会を絡めての議会報告会になるか分かりませんので、この点についてはこのような書き方をさせていただきました。

それで、ここには書かれておりませんが、ちょっと手当てしまして、10月中旬に、市内の不登校の生徒の支援をされている明誠義塾高等学院という学校が川合のほうにごさいますが、明誠義塾高等学院、こちらの学院長からやはり市内の中学校からも不登校だった生徒が高等学院に来てくださっていると、たくさん来てくださっているんで、そういった実情等々も含めてお話をいただきたいということで研修会を考えております。日程としては10月21日頃、もし皆さんの合意が取れば、それで予定をフィックスしたいと思います。

それから、同日なんですけれども、草潤中学校、これは岐阜市にある公がやっている中学校でごさいますが、こちらのほうにも視察に行きたいなというふうに考えております。10月21日の3時からで予約したいと思います。

以上、このような形でスケジュールを考えておりますが、ここで皆さんから御意見をいただければと存じます。

まず資料1-1に関してですけれども、教育福祉委員会の所管としては、まあ当然のことが書かれているわけでごさいますが、このような内容で合意が取れば、これで年間活動計画としたいと思いますが、いかがでございましょうか。

よろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

ありがとうございます。では、案を消していただいて、これで年間活動計画とさせていただきます。

それから、1-2のスケジュールのほうですけれども、まず御提案させていただきました10月の中旬、10月21日の金曜日なんですけど、12時半から明誠義塾高等学院の中島学院長に来ていただいて講演をしていただく、お話をいただく、それから、それが終わりましたら、岐阜市のほうに車で移動しまして、3時から草潤中学の視察という形にしたいと思いますけれども、これについてはいかがでしょうか。

〔発言する者あり〕

そうなんです。初めは午後1時から考えていたんですけど、ちょっと難しいかなという

ことで。

[発言する者あり]

すみません、発言する際はごめんなさい、手を挙げて、私が指名いたしますので、マイクを使ってお願いします。すみません。

○委員（富田牧子君） すみません、ちょっとスケジュール的にきつくないでしょうか。内容的にはとてもいいことだと思うんですけど、午後1時からお話を聞いて、その後、皆さんから質問が出たりして、もしそういう……、そんな1時間もお話ししないですかね。

30分ぐらいかな。そうしたら、とにかく岐阜市へ移動するのに1時間は見ておかないといけないので、草潤中学校へ行くにはここを2時に出なきゃいけないし、このスケジュールで間に合うんでしょうかということです。

○委員長（川合敏己君） その懸念がございましたので、事前に、ちょっと皆さんの合意を取る前でしたけれども、校長先生のほうと話をしましたら、当日12時30分、お昼の時間にかかりますけれども、それでよろしければ12時半から1時半という時間帯で、お話自体は40分ぐらいで質疑の時間を20分ぐらいという形でいかがでしょうか。そこから10分ぐらいもし延長になったとして1時40分ぐらいになったとしても、1時45分に出れば3時には確実に岐阜市に着くのではないかなというふうに考えておりますけど、ちょっと甘いですかね。

というふうに考えておりますので、ちょっとお昼の時間にかかって事務局にも申し訳ないんですけども、もしそれでよろしければその時間帯で決めてしまいたいと思います。

それか、もしくは、午前中の10時半から12時という時間帯でやって、お昼をちょっとゆっくり取って、余裕を持って3時に間に合うように岐阜市に出発というやり方もあるかとは思いますが、いかがでございますか。どちらがよろしいですか。なるべく皆さんのスケジュールが間延びしないようにと思つての時間帯の設定を考えていましたけれども。

御意見ある方、お願いします。

○委員（勝野正規君） 今、委員長が調整されておりました御苦労さまです。

後段で言われた案のほうが余裕があつていいんじゃないでしょうか。

○委員長（川合敏己君） ほぼ1日潰れてしまいますけれども、例えば10時半から12時の時間でじっくり時間を取って、そして、3時から時間に間に合うように1時45分ぐらいに出発するような形で、そんな感じでちょっとお昼の時間、間延びといいますか、大分ちょっと時間がかかりますけどよろしいですか。

[「はい」の声あり]

では、そのような形で調整をさせていただきます。

それから、11月の教育委員との懇談会は、教育委員が集まれる日を利用して、その午後に行う予定にしておりますのでよろしくをお願いします。

○委員（富田牧子君） さっきの教育委員の懇談会ですけど、日にち的には何日。

○委員長（川合敏己君） 日にちが9月30日に決まるそうですので、それで議会の日程と重ならないような形で決めたいと言つておりましたので、もしかしたら11月の上旬にかかる可能

性があります。

あと、議会報告会に関しては、この後の協議題で話をさせていただきます。

それから1月の下旬の勉強会を行うことに関して、この点についてはいかがでしょうか。

まだ、実は地域包括支援センターの管理者の人ですかね、関係者の人には、現場で働いていらっしゃる方なんですけど、その方とはまだちょっと直接コンタクトを取って日時を決めているわけではないんですけど、方向性だけちょっと今の時点では決めたいと思うんですけど。よろしいですかね。

○委員（富田牧子君） 地域包括支援センターですけど、そこで地域支援コーディネーターとありますよね。そこら辺の活動をよく紹介をしていただきたいというふうに思うんですけど、今、1名ぐらいどこかに見えると思うんですけど、図式があったじゃないですか、第2層の協議体、ちょっと訳が分からん、私にとっては。そういう地域包括支援センターのやっている活動のことがすっきり分かるように、そのことも説明していただきたい。

それから、コーディネーターがやっぱり実際に配置されてどんなふうにやってみえるか、役に立っているのか、お願いしたいです。

○委員長（川合敏己君） 御意見ありがとうございます。

事務局のほうとまた調整させていただいて、今お話しいただいた部分がお話しいただけるように調整します。

あと、それを盛り込んだ上で、先方にお話ししていただく内容は決めていただく形でもよろしいですかね。

〔「はい」の声あり〕

じゃあ、そのような形とさせていただきます。

資料1-2に関しては特に、これでよろしかったですか。

〔挙手する者なし〕

それでは御意見がないということで、このまま進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

続きまして、(2)議会報告会についてを議題といたします。

資料2を御覧ください。お手元の資料2-1ですね。

可児市議会議会報告会開催、これは9月2日の広聴部会の資料からのものでございます。

令和4年11月中旬に、常任委員会ごとに市内3か所に分かれて開催という形で決まったそうでございます。

プログラムの案としましては、開催はおおむね90分で、決算説明が約20分ほど入りまして、それから決算に対する質疑応答が20分の時間を取ります。その後、常任委員会で定めたテーマについて、議会から説明を10分、テーマに対する質疑、自由討議を40分、まとめ5分という形で行うそうでございます。

進行の例としましては、ここに書かれているとおりでございます。

その他、開催形式については、ハイブリッド形式を基本となっはいるんですけども、新

型コロナウイルス感染症の状況によって、またここは変化するかなというふうに考えております。

それから、テーマを市民から募集することも可ということになっておりますが、原則同時に開催しないこととしたい、これは多分決算説明があったりとか、議長や副議長の参加もありますので、原則3 常任委員会の時間をずらしてやっていくことになるということになっております。

裏を見ていただきたいのですが、資料2-2というところですね。

可児市議会令和4年度下半期議会報告会実施計画とありまして、ここに、教育福祉委員会のところに日時、場所、テーマ、内容、対象、人数、備考とあります。これは、今日細かいところまで決めるということではなくて、ちょっと方向性がもし決まればと思っております。

日時は11月の中旬ぐらいですが、対象となる、例えばどこかの団体とやるということであれば、そこの日程の調整が入りますので、まずその、どことやるかということもあるんですけども、場所に関しては、できればこの庁舎を使って、この5階でやりたいなというふうに思っております。

テーマに関しては、これも皆さんから御意見等はいただきたいかと思いますが、どういったところと懇談会をしていったらいいかということ、ちょっといただきたいと思っております。私自身の腹案は1つありますけれども、まず皆さんからの御意見も伺いたいかなと思っております。

それでは、まずどういった団体といいますか、方を対象とした議会報告会にしていったらいいかということ、ちょっと皆さんから御意見をいただきたいのですが、何か案があったりとか、思いがある方がいらっしゃればお願いしたいんですけども。

ちなみに、去年は冬場の議会報告会は1月に行ったんですが、民生委員児童委員との懇談を、あえて議会報告会という形でさせていただきました。

それから、春先、5月でしたかね、行った議会報告会は、ICT教育について思うことというような形で、若いお母さん方やほかの市町の議員にも参加いただいて、いろいろな御意見をいただきました。そんな状況でした。

今回は、議会報告会はどういった方々とどういったテーマについてやったほうがいいか、ちょっと御意見をいただければと存じますけれども。

○委員（勝野正規君） 議題にもあるように、高齢者の孤立防止ということがあって、各サロン、幾つあったっけ、サロンの代表者の方々の組織があればそういう方々との懇談という案です。

○委員（富田牧子君） ちょっと申し訳ないけど、私はちょっと福祉関係はもういいかなという気がいたしておりますので、できれば教育のほうで、もうちょっといろんな、例えばPTAの人とか、それから学校評議員など、関連している人とかそういう人たちから、ぜひ御意見を聞かせていただきたいなというふうに思っております。

○委員長（川合敏己君） ありがとうございます。

教育関係、学校、それはPTA関係ですね。いわゆる子育て世代の親さんですね。

ほかにございますか。

○委員（勝野正規君） PTA、私もそれ、いいんですけど、PTAの方々、多分平日、非常に厳しい時間帯になると思うもので、もう少し絞った団体を見つけないと、見つけていきたいと思います。

○委員長（川合敏己君） はい、分かりました。

ほかにご意見ございますか。

今回、ちょっと視察を、委員会で不登校児童・生徒の関係した形で行うこともそうですし、あと研修会としては、やっぱり地域包括関連で福祉の部分での研修会も1月に予定はしていきたいと思っているんですけども、比較的、例えばハイブリッドで行うとか、全くのリモートでの、いわゆる議会報告会という形になってくると、ちょっと対象が何となく若い世代のほうがいいのかなという気はしないではないです。

それと、あと私も実はちょっと腹案で持っていたのは、今PTAに関わっている方々というのは、物すごく御苦労されながらPTA活動もされつつ、子供たちの環境を整えてくださっているようなんです。ですので、市PTA連合会というのがあるんですね。その方々の懇談というよりは、大体PTA会員という子育て世代の親さんなので、その方々を市PTA連合会とか単位PTAの方に限らずということで、その方々を中心にお声がけをして集っていただいて、現在の学校教育、学校環境で思うことみたいな形でいろいろな御意見を、特にテーマをこれというふうに決めるのではなくて、様々な御意見がいただけるようなやり方をしてもいいのかなというふうには、ちょっと思います。多分、ここにいらっしゃる方は、PTAに関係していらっしゃる方が多いと思うんですけども、やっぱりそこから離れて、今、お孫さんからもお話を聞いていらっしゃる方もいらっしゃると思うんですが、現在の生の声というものを、改めて学校内の思うことということをお話いただくというのは、今後の議会、委員会運営にも参考になるのかなというように思ったりもいたします。

どうでしょうか。

○委員（勝野正規君） テーマはやっぱり決めないと、話があちこち行っちゃうと思うんで、僕はテーマは必要かなと思うし、僕は今ふと思ったんだけど、この間青年会議所が中学生の5人ぐらいと、議会と懇談をやったじゃないですか。どこかの校長先生に頼んで1クラス、中学3年生を借りてきてそこと、こっちから出向いていってもいいし、テレビ会議でもいいんですけどもオンラインでも。そういうのも考えられないのかなと。今、それは学校の教育現場ということで、ICTも使ってどうって言って本当に聞きたいなどは思いました。

○委員長（川合敏己君） ありがとうございます。

ほかにご意見ございますか。

副委員長、ございますか。

○副委員長（渡辺仁美君） やはり、市PTA連合会あるいは単位PTA、現場のお母さんたちの生の声を聞くというのは今、一番早急に必要なことかなと思います。それで、視察のほ

うもそういった不登校ということテーマに掲げていくわけですから、そこと連動してお声をかけるのが一番のメリットであるなど、こんなふうに思いましたので、委員長の私案のPTAの役員の方との懇談、それはよいアイデアだと思います。以上です。

○委員長（川合敏己君） ありがとうございます。

野呂委員、どうですか。

○委員（野呂和久君） 予算決算委員会でもスマイリングルームのことも出ましたけど、来ていらっしゃる子供たちが全体の2割ぐらいと言っていましたっけ。8割の子供たちはやっぱり接点がないのかなというふうに思って聞いていたんですけど、不登校の子供たちのことって非常に大事なテーマだと思うので、それも絡めて教育ということでやっていただければなと思います。その関係の方を招いているんな実情をもう少し掘り下げていけるといいかなと思います。

○委員長（川合敏己君） はい、ありがとうございます。

○委員（中野喜一君） ちょっと最近、園児がバスの中にいるのを忘れてという事故が多発しているんでその辺を、バスもIT化が進んでいて、園のほうにもきっちりと園児が来たかどうかというのを発信器か何かついていて、情報を共有できるような設備を整えているところもあるというのを見たんで、その辺、可児市ではどうなのかということと、それが不足しているのであれば、やっぱり予算を割いてでもつけなきゃいけないななんて思いながらいたんですけど、ちょっとまとまりがなくてすみません。以上です。

○委員長（川合敏己君） 可児市の園の状況についてお知りになりたいなというところなんですけど、対象としてはそうすると、保育士とかそういう方々。ちょっと懇談、結構、休日保育、そこら辺、難しいかもしれませんけれども、一つの御意見としていただきます。

林委員はどうですか。

○委員（林 則夫君） 議会報告会とか懇談会とかいって人を集めるのはいいですけども、皆さん忙しい方ばかりですので、あくまでその方々に負担にならんような形ですね、例えば昼間の時間だったらお勤めのあれがあるでしょうし、そういうことも十分配慮してやっていただきたいと思いますね。

○委員長（川合敏己君） ありがとうございます。

総体的に多い意見としては、子育て世代の部分でのお話が多かったんで、そちらのほうで話を進めていきたいかなというふうに思いますが、よろしいですか。

あと、林委員からも御指摘がありましたけれども、市PTA連合会の会長が、実は私の学校のPTA会長でもありまして、その方にお伺いすると、今、市PTA連合会では金曜日の夜に、例えば文化創造センター アーラでしたら文化創造センター アーラの一室を借りて、そういう懇談会をフリーディスカッション形式でやっているそうなんです。例えばそういうところにお邪魔して、そうすると夜の時間帯に必然的になってしまいます。7時から、例えば7時半からとか。そういうような形で、ちょっと既に集まりがある場にお邪魔して、そこでお話を伺うというやり方もできますよみたいなことは、ちらっといただいています。



ただ、これは夜の時間帯になりますので、それも平日の夜ですから、委員の皆さん方におかれましてもお忙しい時間帯ではあるかと思えます。もし、そこら辺の合意が、そういう形式でもいいですよということで合意が取れるようであれば、それも含めて話をちょっと今後詰めていきたいかと思えますけれども、いかがでございますか。どうですか。

○委員（富田牧子君） それでいいと思えますけど、前、議会報告会を夜やったこともありまして、だから夜だからやれないということはないです。

○委員長（川合敏己君） はい、分かりました。

そうしたら、基本は子育て世代の若い親御さんとの懇談という形にしたいと思えます。それは、団体として、PTAのメンバーの方を中心としたというところにしていきたいと思えます。必ずしも市PTA連合会の方が全員そろってというような、そういうような向こうに無理を強いるような形ではなくて、できれば、既に行われている会に議会がお邪魔させていただいて、議会の報告と共に懇談をさせていただくというような形式を、ちょっと模索したいと思えますので、それでよろしゅうございますか。

〔挙手する者なし〕

では、日程に関しては先方の都合もございまして、11月の中旬ということで、広聴部会のほうからお話いただいておりますので、そのような形で詰めさせていただきますけれども、これも相手あつてのこととございまして、なるべく12月議会にかからないような形で、もう少し前倒して10月に入るかもしれませんけれども、その点、お含みおきくださいますようお願いいたします。

では、日時、場所については、また追つての形にします。

先ほどお話しされましたテーマなんですけれども、テーマに関しては、どうしましょう。そうしたら、今のコロナ禍の子供たちの学校生活における課題とか、そういうような形でちょっと仮決めをさせていただいて、その形でPTAの方にお話をし、そういう内容よりもっとこういうのがいいよという、逆に市民からの意見が出てくる可能性もありますので、ちょっとそこは流動的にさせていただいてもよろしいでしょうか。

○委員（富田牧子君） 学校教育っていうふうじゃなくて、例えばキッズクラブも入ると思うんですね。だから、クラブ活動もあるし、いろいろ、いろんなことが出てきているじゃないですか、議会の一般質問の中でもね。だから、幅広く子供に関係するということで、中心は学校教育ということなんだけど。

○委員長（川合敏己君） 分かりました。

子育ての、あれですね。そのような形で、どうですか、いいですか。委員のほうで。もう少し細かく決めたほうがいいのか。

〔「皆さんの意見がそれなら」の声あり〕

今、富田委員のほうから幅広く御意見がいただけるようなテーマでいきたいということで、これはコロナ禍ということではなくして、子育てにおける、例えば困り……、何と云うんですかね、何かいいテーマがあれば、ちょっと私、ネーミングがなかなか不案内でござ

います。ちょっと御意見いただけるとありがたいですが。

副委員長、何かありますか。

○副委員長（渡辺仁美君） 今、委員長が言葉を出された、困り感ですかね、それは全体を網羅した言葉でもあるので、最近よく使う。その前の枕詞を学校生活か学校教育かにすれば、本当にお困りのことを、つぶさにどの分野でもおっしゃっていただけるのではないかなど、こんなふうに思いますが、いかがでしょうか。

○委員長（川合敏己君） ありがとうございます。

子供たちの学校教育、もしくは学校生活における困り感というような、ちょっとこう何となく、ちょっと言葉はあれとして、そういうような方向性でよろしいですか。

○委員（林 則夫君） それから1ついいですか。議会のほうからこういうお声がけをするとね、恐らく各種団体ね、期待感を持ってくると思うんですよ。だから、こういう会を絶対に要望、陳情の会にせんということですね。できることがあればしてあげられますけれども、そういうことは数少ないと思います。話をお聞きすればそれを政策に取り入れることはあるかもしれませんが、即座に要望に応えるということはできませんので、その点、十分注意してやっていきたいなと思うんです。物すごく期待感を持ってきますよ。議員が大勢集まってきたから、こういうことを言えば必ずやらせてもらえるということがあったんですが、過去にはそういう時期もあったんですけど、今はもうそういう時代じゃないものですから、その点、十分注意してやっていただきたいと思います。

○委員長（川合敏己君） ありがとうございます。

ちょっとここで暫時休憩いたします。

休憩 午前9時33分

---

再開 午前9時35分

○委員長（川合敏己君） それでは委員会を再開いたします。

○委員（富田牧子君） すみません、ちょっと、再開前の話で何月と何月に何を予定しているとおっしゃったんですか、向こうは。9月のは、はっきり言えば市長選の前にちょっと話をというような話なので、ちょっと除外して、もう一つは何月、11月。

○委員長（川合敏己君） 今の富田委員の質問に関して私、持っている情報をお答えさせていただきます。

P T Aの連合会として、9月に市長との懇談をされるということを伺いました。それから、11月8日頃に教育長とも懇談をされるというようなことを伺いました。私の持っている情報はそこまでです。

○委員（富田牧子君） そうすると、私たちがやる意味はあるのでしょうかという、そこら辺をちょっと今、思ったわけです。だって、市長にしる教育長にしる、ちゃんとお答えができるわけですよ。いろいろ要望があって、私たちはお聞きをして、それを政策に生かしたいなと思っているという、そういう立場なんで、間に挟まって、その両方をやるのはどうなん

ですかねと、今の話を聞いて私はふと思ったんですけど、ごめんなさい、反対するようで。

○委員長（川合敏己君） いえいえ、ありがとうございます。

そういう御意見が出るのも当然だとは思いますが、ただ、今の市PTA連合会の会長が非常に積極的にいろんな団体と話を、特にこの行政に関わる部分ですね、したいという思いもどうもあるみたいでございまして、議会としても、そちらで要望が出されることはいいにしても、やっぱりどういったことを困っていらっしゃるのかとか、どういった考えを持っていらっしゃるのか、今の若い親御さんが、そういったことを聞く機会としては、別に設けてもいいのかなというふうには私自身は思います。議会としてやっぱり把握しておくということは大切なことかなと思います。

○副委員長（渡辺仁美君） すみません、私も情報として皆さんにお伝えするのは、既に聞いたことと既に開かれたことなんですけれども、市長との懇談の小さなもので、不登校の御関連の方との、そういったグループとの懇談を、既に先週おやりになったというふうに聞いています。あくまでもフリーディスカッションであったというふうです。以上です。

○委員長（川合敏己君） もうやったんですか。

○副委員長（渡辺仁美君） 不登校に関しては。

○委員長（川合敏己君） そうですか。はい、分かりました。

○委員（勝野正規君） 議会報告会の話ですよ。

○委員長（川合敏己君） そうです、議会報告会の話です。

○委員（勝野正規君） 市PTA連合会と、いいんだけれども、決算説明とかして行くの。

○委員長（川合敏己君） します。

○委員（勝野正規君） 了解です。

○委員長（川合敏己君） 議会のこともきちんと分かっていたきたいので、そこはまだ、そういう団体の方、もしくはその世代の方に、議会報告会の形で決算の報告もさせていただきたいというふうに思います。

それでは、方向性としては、若い子育て世代、特にPTAに関係する方に関して学校生活、教育に関する困り事を課題とすることについて、ちょっと仮の題でございまして、話し合いをしていくこと、懇談をすることよろしいですか。

〔「はい」の声あり〕

ありがとうございます。

あと、詳細については委員長、副委員長、またちょっと事務局のほうとも詰めさせていただいて、後日正式発表とさせていただきます。

これぐらい決まればよろしいですかね。

〔「はい」の声あり〕

じゃあ、そのようにさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、以上で本日の案件は全て終了いたします。

その他、何かございましたらお願いいたします。

[挙手する者なし]

よろしいでしょうか。

それでは発言がないようでございますので、これにて教育福祉委員会を閉会いたします。  
お疲れさまでございました。

閉会 午前9時40分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和4年9月12日

可児市教育福祉委員会委員長